

Community School

地域とともにある  
学校づくりのために

# 茶内CSだより

第4回学校運営協議会は、12月17日（火）に行われました。小学校と中学校の児童生徒の学習の様子を参観していただきました。その後、学校給食を試食し、意見交換をしました。

## 茶内小・中学校の授業を参観して…

小学校は、インフルエンザによる学年閉鎖（5・6年生）がありましたが、1～4年生の学習の様子を参観していただきました。後の交流会では、子ども達の様子だけでなく、施設の状態、学級内の掲示物の状況について交流しました。

### 【小学校の様子から】

- ◎非常に明るい元気な子ども達だった。
- ◎特に1年生は、落ち着きがあり、挨拶などの声も元気だった。
- ◎発表のルールがあり、自分の意見を言いたいときは、手を挙げて、起立して、椅子をしまってから発言する姿がたくさん見られた。
- ◎各学級の授業で2名の先生がいるが・・・
  - ・特別支援学級在籍児童の担任が交流学級で支援・TT指導（チームティーチング）というのがあり、茶内小では、主に算数科で1～3年生で行っている。
  - ・少人数指導では、習熟度別等に2～3クラスに編成し、個に応じた指導を行っている。
  - ・教員の専門性を生かして、二学年合同による体育科や音楽科等の学習をすることもある。
- ◎どの学級でもタブレットなどの視聴覚機器が使われていて、そういった時代が来ていることがわかった。
  - タブレットは、今年になって全学級に導入している。メインサーバーから教材をダウンロードしたり、教科書を取り込んだりして、無理無駄なく効率的かつ効果的な教材提示ができるようにしている。
- ◎来年度からプログラミング学習が始まると聞いているが・・・
  - 小学校は、一昨年あたりから総合的な学習の時間を使って先行実施している。パソコン操作に慣れるために、タイピング、マウス操作などの学習もある。コンピュータ学習に長けている教員が不在の場合は、学校差が起きるかもしれない。



### 【中学校の様子から】

- ◎非常にレベルの高い内容を学習していた。日露戦争を題材に戦争の是非について積極的に意見交流をしていて良かった。理科の学習にしても発電所の立地の条件について社会科の学習

等と関係付けて意見発表している場面があった。英語科では、身振りや手振りを使いながら伝えようとしていた。他の教科の学習ではどのような状況か。

→体育科は、厳しい体育というよりは、学年はじめは集団行動の学習が多いが、単元の多くは「楽しい体育」を展開している。

→英語科は、1時間の学習時間で、英語教師が意図的に「半分は日本語、半分は英語」のように授業を組んでいる。

→来年度から、家庭科の学習の中で「着付け」を考えている。地域の方で協力していただける方がいらっしやるとありがたい。

◎部活動の新設は可能か。

→現状では、なかなか難しい状況にある。生徒数が減っている中で、部活の数が増えると今ある部活の部員数が少なくなることが予想され、活動が小さくなってしまいます。また、部活動を掛け持つことが中体連として認められていないことから新設は難しい。

→また、最近の「働き方改革」の影響を受け、練習時間の制限が有るため影響を受けている学校もある。



## 「茶内小 PTA もちつき会」の今後の在り方

11月30日（土）に行われた「茶内小 PTA もちつき会」の反省資料を見ながら、学校運営協議会との連携について話し合いをしました。来年度から新学習指導要領完全実施にともなう実施の難しさはあるが、子ども達の活動の様子から、次の点について確認されました。今後は論点を整理し、検討していきたいと考えています。

- ・土曜授業は、授業をしっかりと行う。
- ・自治会、茶小 PTA 等で「もちつき会プロジェクトチーム」を作ってはどうか。
- ・別会場（トレセンかコミセン）で実施し、白の数を増やして一気にやる。
- ・夏の子ども会の行事→もちつき会に集約すると、多くの方々にとって有益ではないか。
- ・茶内小 PTA と自治会が共催で実施することで、予算をキープできるのではないか。
- ・茶小 PTA 役員会でも話し合い、次回の学校運営協議会等で話し合いをしていく方向でよい。等



## 茶内地区コミスク ～今後の予定～

第 5 回学校運営協議会 2月12日（水）19：00～  
茶内中学校

- ・学校評価
- ・学校運営協議会ふりかえり